

公園一括管理によるまちの魅力づくり

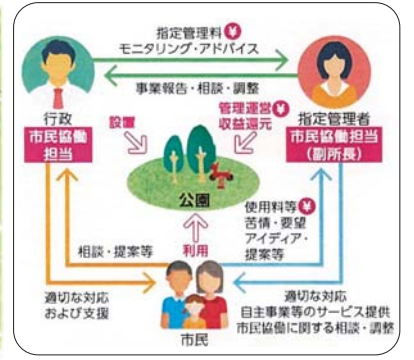
西東京市 54 公園一括指定管理 視察報告

西東京市 54 公園の一括指定管理の概要

西東京市では、多様化する市民ニーズを踏まえ、限られた予算中で「公園配置計画」（平成 29）が目指す、公園施設の有効活用、充実、リニューアル、再配置、協働型の使いこなしの実現を目指し、約 270 箇所の公園のうち市北部に位置する 54 公園を一括して指定管者制度の対象とした。指定管理者の公募にあたっては、「市民協働のノウハウをもった人材の配置」と「自主事業による活性化」が条件付けられ、市民協働を推進し、エリアマネジメントを意識した地域活性化が、指定管理者に求められている。指定管理者には、「西東京の公園・西部パートナーズ」が選定され、平成 28 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで 5 年間の管理運営が行われている。第 35 回都市公園等コンクール管理運営部門審査委員会特別賞を受賞。



対象公園位置図



市民協働型指定管理者制度

【西東京いこいの森公園及び周辺の市立公園の指定管理者】
指定管理者：西東京の公園・西武パートナーズ
（代表企業：西武造園、構成団体：NPO birth、尾林造園）
管理期間：平成 28 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日
合計面積：79,470 m²（最大面積：44,000 m²、最少面積：15 m²）

（指定管理者提供資料より）

拠点公園における基盤づくりと小規模公園の利活用促進

約 4.4ha と西東京市最大規模の公園である「西東京いこいの森公園」を拠点公園として位置づけ、市民協働、地域連携による様々な公園イベントが実施されている。その他小規模公園については、西東京市が実施した市民ワークショップで提案された小規模公園の活用アイデアの実現に向け、「みんなで育てる小さな公園プロジェクト」が実施されている。拠点公園と小規模公園のそれぞれの特性を生かしたパークマネジメントが行われることで、対象エリアのまちの魅力づくりにつながっている。また、様々なプロジェクトを実施するための公園の分析や人材配置などが行われ、利用促進が図られている。

「西東京いこいの森公園」における連携事業等

「西東京いこいの森公園」には、54 公園のうち唯一管理事務所があり、事務所にパークコーディネーターを常駐させることで、市民、地域団体、企業等と連携を促し、指定管理者主催のイベントが年 75 回開催されている。これにより、指定管理 3 年目の年間来園者数は、開始前の約 1.3 倍に増えており、拠点公園としての利用活性化が進められている。

〔主な取り組み〕



地元の花卉農家等と連携したイベント「ガーデニング DAY そらはなパーティー」
手ぶら BBQ サービス
地元参加によるクラフトマーケット
（写真：指定管理者提供資料より）

「みんなで育てる小さな公園プロジェクト」

西東京市では、「公園配置計画」を策定するにあたり、市民ワークショップを開催し、小規模公園や緑地を積極的に使いこなす基本方針を決定した。市の方針を受けて、市民、行政、指定管理者の 3 者が進める「みんなで育てる小さな公園プロジェクト」が実施されており、ハーブガーデンの整備や、食と農をテーマにしたイベント等が実施されている。

〔主な取り組み〕



ハーブガーデンへの改修及び地元活用
隣接するコミュニティ施設と連携した「にわマルシェ」の開催
（写真：一部指定管理者提供資料より）

公園のポテンシャル分析

指定管理者が、対象公園全ての公園ごとの、開園経緯、立地特性、利用状況、地域特性等を調査・分析し、事業計画を作成し、管理運営を行っている。

パークコーディネーターの配置

市民協働担当として、パークコーディネーター専門のスタッフを配置し、多様な市民、地域団体、企業等との協働を推進している。

資金確保の工夫

手ぶら BBQ サービスや、イベントへの出店料や協賛、管理事務所での物販、自動販売機の設置など、様々な手法で資金確保を行い、多彩な事業を支えている。

■視察概要 視察日程：令和元年 7 月 15 日～16 日／視察対象：西東京市 54 公園ほか

西東京市 54 公園の指定管理者と西東京市役所担当課に対するヒアリング、現地視察を行った。あわせて、NPO birth 事務局長佐藤留美氏にご案内いただき、東小金井駅周辺の高架下を活用したコミュニティガーデン等を視察をした。

7/15 (月) 東小金井駅周辺高架下活用コミュニティガーデン等
こくぶんじのまちづくり 国分寺産線、都立武蔵国分寺公園等
7/16 (火) 西東京市 54 公園指定管理者ヒアリング・現地視察

